

バンダイこどもアンケートレポート Vol.217

「冒険に関する意識調査」結果

TOPIC①: 8割以上の子・親が「冒険に行きたい／行かせたい」と回答！

子どもが冒険に行きたい場所の1位は「宝島」。親が冒険に行かせたい場所の1位は「外国」。

TOPIC②: 『冒険に一緒に行きたい人／子どもと一緒に行ってほしい人』の1位は親子ともに「友達」。

子どもの2位は「父親」。親の2位は「ひとりで行かせたい」という回答に。

TOPIC③: 親子が選ぶ「冒険の三種の神器」は、「水・食料」、「カメラ」、「地図」。

総括 : バンダイからのコメント

株式会社バンダイ(本社:東京都台東区、代表取締役社長:上野和典)は、「夏休み」を前に、8月30日が「冒険家の日」であることにちなみ、小中学生の子どもを持つ親(子どもと一緒に回答できる方)840人を対象に、「冒険に関する意識調査」を初めて実施しました。

調査結果を以下の通り発表いたします。(実査期間 2014年6月11日～13日)

TOPIC①: 8割以上の子・親が「冒険に行きたい／行かせたい」と回答！

子どもが冒険に行きたい場所の1位は「宝島」。親が冒険に行かせたい場所の1位は「外国」。

『冒険に行ってみたいか／子どもに行ってほしいか』を聞いたところ、「冒険に行ってみたい」という子どもは82.6%、「子どもに冒険に行ってほしい」という親は83.7%となり、親子ともに、「冒険」に対して積極的な思いを持っていることがわかりました。

『子どもが冒険に行ってみたい理由』*を聞いたところ、「感動(わくわく)したい」(45.0%)、「その場所に行ってみたい」(39.3%)という回答が多く、子どもは冒険に対して「ワクワク感」を求めていることがうかがえます。

一方、『親が子どもに冒険に行ってほしい理由』*を聞いたところ、「そこでしかできない経験をさせたい」(50.8%)、「非日常体験、普通の生活では味わえないことをさせたい」(44.1%)という回答が多く、親は、冒険を「子どもの成長の機会」と捉えていることがわかります。(※選択式、複数回答)

【冒険に行ってみたい場所／行ってほしい場所】

(選択式、単一回答)

冒険に行ってみたい場所(子ども)		
1位	宝島	24.5%
2位	宇宙	17.1%
3位	外国	12.8%
4位	南の島	8.4%
5位	海	7.1%
6位	無人島	5.6%
7位	山	5.3%
8位	島	3.7%
9位	空	3.3%
10位	川	各2.7%
	深海	

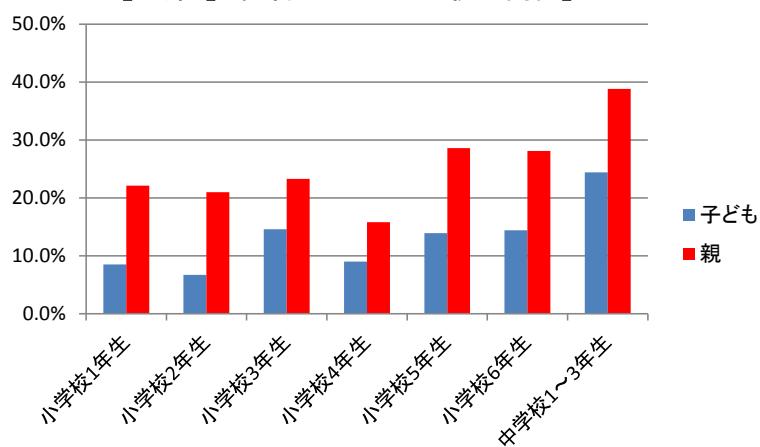
子どもに冒険に行ってほしい場所(親)		
1位	外国	25.3%
2位	宇宙	14.4%
3位	宝島	10.5%
4位	南の島	10.1%
5位	山	8.8%
6位	無人島	6.0%
7位	島	5.3%
8位	海	4.3%
9位	森	3.8%
10位	秘境	3.1%

『子どもが冒険に行ってみたい場所』は、1位「宝島」(24.5%)となり、2位「宇宙」(17.1%)、3位「外国」(12.8%)と続きました。1位の「宝島」に行ってみたい理由としては、「宝探ししたい」という夢のあるコメントや、「わくわくする」という子どもらしいコメントが寄せられました。また、2位の「宇宙」には、「まだ未知の世界だから」、3位の「外国」には、「いろんな人に会ってみたい」などの意見が寄せられ、未知の世界で、これまでやったことのないことを経験したい、という子どもたちの冒険心をうかがえます。

一方、『親が子どもに冒険に行ってほしい場所』の1位は「外国」(25.3%)、2位「宇宙」(14.4%)、3位「宝島」(10.5%)となりました。トップ3内の順位が子どもと入れ替わり、より現実的な「外国」という回答が子どもの約2倍となりました。特に、中学生の子どもを持つ親のなかで「外国」と回答した人は、38.8%と学年別で最も高く、子どもの学年が上がるにつれて、海外を意識している傾向が読み取れます。

「外国」に行ってほしい理由として寄せられた「グローバルな人間になってほしい」、「異文化を肌で感じてほしい」、「見聞を広げてほしい」というコメントからは、将来を見据えてグローバルな視点を身に付けて欲しいという親心が垣間見えました。

【「外国」と回答した子ども／親の割合】



TOPIC②: 『冒険に一緒に行きたい人／子どもと一緒にに行ってほしい人』の1位は親子ともに「友達」。

子どもの2位は「父親」。親の2位は「ひとりで行かせたい」という回答に。

【冒険に一緒に行きたい人／子どもと一緒にに行ってほしい人】

(選択式、單一回答)

冒険に一緒に行きたい人(子ども)			冒険に子どもと一緒にに行ってほしい人(親)		
1位	友達	38.5%	1位	友達	29.6%
2位	父親	19.3%	2位	ひとり	25.5%
3位	母親	各13.0%	3位	家族	14.1%
4位	家族		4位	父親	13.4%
5位	ひとり	7.3%	5位	兄弟	8.1%
	兄弟	6.3%			

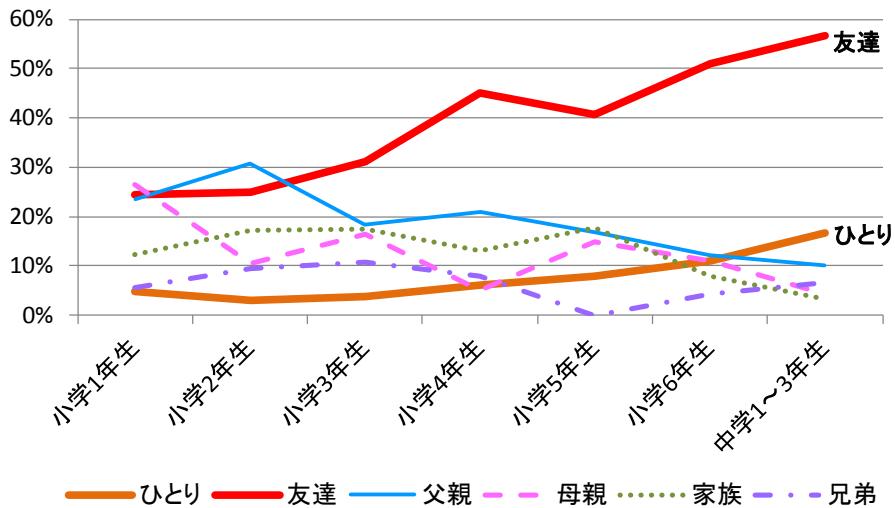
『冒険に一緒に行きたい人／子どもと一緒にに行ってほしい人』を聞いたところ、子ども、親ともに、1位は「友達」(子ども 38.5%、親 29.6%)となりました。子どもからは「仲間と共有したい」、「何があっても協力できる」という、友達とのつながりを感じさせるコメントが多く寄せられました。また、親からは「コミュニケーションを学んでほしい」、「助け合うことを学んでほしい」という家族以外のコミュニティーでの子どもの成長を願うコメントが寄せられました。

子ども、親の差が表れたのが2位以下で、『子どもが冒険に一緒に行きたい人』の2位は「父親」(19.3%)、『親が冒険に子どもと一緒にに行ってほしい人』の2位は「ひとり」(25.5%)となりました。

子どもが「父親」と回答した理由のコメントには「尊敬」、「頼れる」、「力強い」、「助けてもらえるから」、「安心」などのキーワードが挙がり、父親が子どもから「頼もしい存在」として信頼されていることが読み取れます。

一方、「ひとり」と回答した親の割合は、子どもの約3倍以上で、理由としては、「自立してほしい」、「成長してほしい」、「強くなってほしい」というコメントが寄せられ、子どもの成長を願う親の気持ちを表す結果となりました。

【学齢別：冒険に一緒に行きたい人】



『子どもが冒険に一緒に行きたい人』を学齢別に見ると、学年が上がるごとに「友達」「ひとり」の割合が増える傾向が顕著で、独立心が芽生えていく様子がうかがえます。

TOPIC③：親子が選ぶ「冒険の三種の神器」は、「水・食料」、「カメラ」、「地図」。

【冒険に持つて行きたいもの／持つて行かせたいもの】 (選択式、最大3つまで回答)

冒険へ持つて行きたいもの(子ども)			子どもに冒険に持つて行かせたいもの(親)		
1位	水・食料	63.5%	1位	水・食料	63.4%
2位	カメラ	24.4%	2位	地図	21.3%
3位	地図	19.6%	3位	カメラ	20.8%
4位	携帯電話・スマートフォン	17.9%	4位	寝袋	20.6%
5位	ゲーム	17.6%	5位	携帯電話・スマートフォン	18.8%
6位	着替え	17.4%	6位	着替え	17.8%
7位	テント	15.9%	7位	お金	16.5%
8位	お金	15.6%	8位	テント	16.4%
9位	寝袋	13.5%	9位	方位磁石	12.1%
10位	時計	8.5%	10位	時計	9.0%

『冒険に出るとき、3つだけ持つて行けるとしたら持つて行きたいもの／持つて行かせたいもの』を聞いたところ、子ども、親ともに、「水・食料」(子ども1位、親1位)、「カメラ」(子ども2位、親3位)、「地図」(子ども3位、親2位)がトップ3となりました。

生きていくために必要な「水・食料」は、親子ともに6割を越え、2位以下に大きく差をつけて1位に。選んだ理由として、「食べ物や水が無いと困る」(小学2年生男子)、「生きていくうえで必要」(小学2年生女子の母親)などのコメントが多数寄せられました。

「カメラ」を選んだ理由としては、「景色を皆に見せたい」(小学2年生女子)、「子どもから、いろいろな感動を映像で教えてもらいたいから」(小学5年生女子の母親)などのコメントがあり、冒険で見たものを周りの人に共有したいという子どもの気持ち、冒険でどんなものを見たのか知りたい親の気持ちがうかがえます。

「地図」を選んだ理由としては、「冒険には必要」(小学5年生女子)という、「冒険といえば」というイメージで選択した回答と、「自分がどこにいるかわかるから」(小学2年生男子)というコメントがあり、自分の頭で考えて道具を使おうとしている姿勢がうかがえます。また、親からは「自分のいる場所がわからないと不安だろうから」(小学3年生女子の母親)という、子どもを心配する親心や、「地図を見て、自分で動くのが冒険」(小学校5年生女子の父親)、「地図を見て、自分の足で歩いて欲しいから」(小学6年生女子の母親)という、自分で考えられる子どもになって欲しいと感じる親の願いが読み取れました。

【バンダイからのコメント】

8月30日は「冒険家の日」。1970年に植村直己さんがマッキンリー単独登頂に成功し、世界五大陸最高峰の征服を成し遂げた日です。今回は、「冒険家の日」にあわせ、「冒険に関する意識調査」を行いました。調査全体を通して、子どもからは「やったことのないことを経験したい」、「未知の世界を見たい」という夢にあふれ前向きな姿勢が、親からは「子どもに成長してほしい」、「自立してほしい」という願いが伝わってくるコメントが寄せられました。

子どもが『冒険に一緒に行きたい人』では「父親」が2位に。日本のお父さんが「心の大黒柱」として、子どもたちからあらゆる面で頼りにされていることがうかがえる結果となりました。

また、『冒険に行ってみたい場所』、『冒険に行ってほしい場所』では、親子ともに「宇宙」が2位に。今は少しハードルが高いかもしれません、子どもたちが大人になる頃には、気軽に行ける身近なものになっているかもしれないと思うと、とても不思議な感覚を覚えます。

もうすぐ夏休み。2016年からは8月11日が「山の日」に制定され、ますます夏休みは「家族の時間」として重要なものになるかもしれません。

「かわいい子には旅をさせよ」という言葉もありますが、子どもの成長のために、まずは家族で、今年の夏は「冒険の旅」に出かけてみてはいかがでしょうか。

■調査概要

【調査目的】冒険に関する意識を探る

【調査地域】全国

【対象者条件】小学生、中学生の子どもを持つ親 ※子どもと一緒に回答できる方

【調査手法】インターネット調査(協力:株式会社クロス・マーケティング)

【実査期間】2014年6月11日(水)~6月13日(金)

【サンプル数】840人

【構成】

(全体)	小学1年生	小学2年生	小学3年生	小学4年生	小学5年生	小学6年生	中学1~3年生
男子	60人						
女子	60人						

こどもアンケートホームページ: <http://www.bandai.co.jp/kodomo/>

バンダイホームページ: <http://www.bandai.co.jp/>